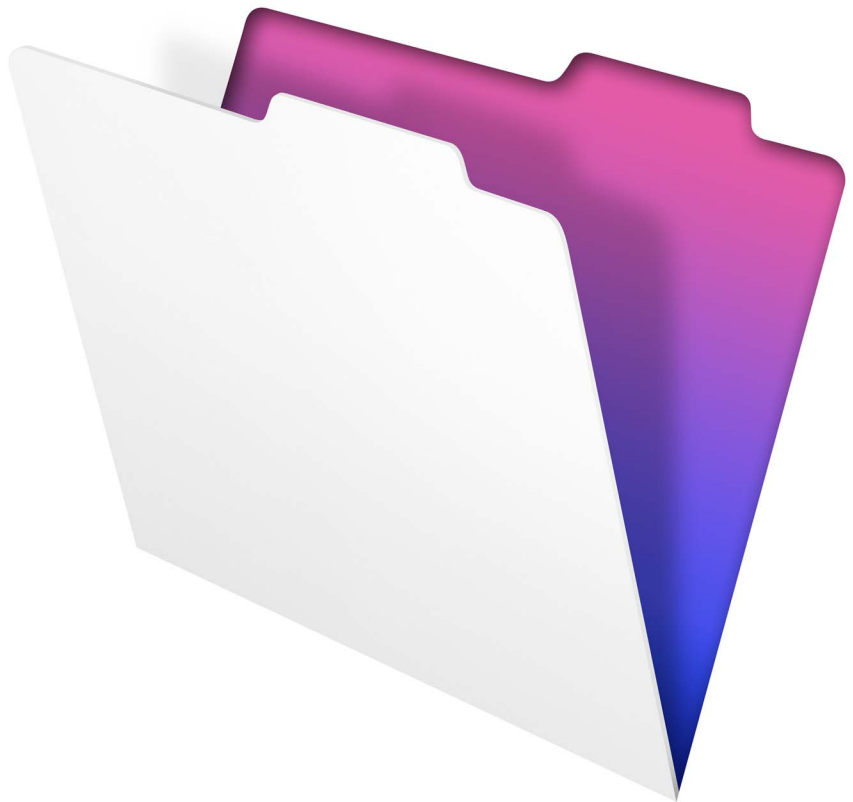


FileMaker® Pro 11

ターミナルサービスでの
FileMaker Pro 11 の実行



© 2007–2010 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。

詳細情報については www.filemaker.co.jp をご覧ください。

第 01 版

目次

第1章

ターミナルサービスの紹介

ターミナルサービスについて	5
ターミナルサービスサーバー	5
ターミナルサービスクライアント（リモートデスクトップ接続）	5
RDP（Remote Desktop Protocol）	5
ターミナルサービスを使用する利点	5
システム必要条件	5
ターミナルサービスクライアントソフトウェア（リモート デスクトップ 接続）のインストール	6

第2章

ターミナルサービスを利用した FileMaker Pro の使用

ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro のインストール	7
ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro のインストール (Windows Server 2003)	7
ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro のインストール (Windows Server 2008)	8
使用に関する注意事項	8
FileMaker Pro ファイルを使用するための環境	9
非共有ファイル	9
FileMaker Server への接続	9
FileMaker Pro の機能と制限事項	9
TechInfo データベースの記事	9

付録 A

ライセンスの必要条件

FileMaker ライセンス条件	11
ボリュームライセンスアグリーメント（VLA）	11
サイトライセンスアグリーメント（SLA）	11
Windows Server 2003 または 2008、およびターミナルサービスライセンスの必要条件	11

4 ターミナルサービスでの FileMaker Pro の実行

第1章

ターミナルサービスの紹介

ターミナルサービスについて

ターミナルサービスは、あらゆるタイプのネットワーク接続で、多数のコンピュータから Windows Server 2003 または 2008 コンピュータ上にインストールされているアプリケーションにリモートアクセスすることを可能にする Windows Server 2003 ならびに Windows Server 2008 のコンポーネントです。

ターミナルサービスには、サーバーとクライアントの通信手段として3つのコンポーネント（サーバー、クライアント、およびプロトコル）があります。

ターミナルサービスサーバー

ターミナルサービスをアプリケーションサーバーモードで使用する場合、すべてのアプリケーションはサーバー上で実行されます。ターミナルサービスサーバーは画面情報のみをクライアントに送信し、クライアントのマウスおよびキーボードの入力情報のみを転送します。

ターミナルサービスクライアント（リモートデスクトップ接続）

ターミナルサービスクライアント（リモートデスクトップ接続）は、シンクライアントテクノロジーを使用して Windows デスクトップ環境をユーザに提供します。クライアントは、サーバーとの接続を確立するだけで、仮想装置として動作します。

RDP（Remote Desktop Protocol）

ターミナルサービスをインストールすると、RDP（Remote Desktop Protocol）が自動的にインストールされます。RDP は、クライアントをターミナルサービスサーバーに接続するために設定する必要がある唯一の接続です。ネットワークアダプタにつき1つの RDP 接続を設定できます。

ターミナルサービスを使用する利点

- 組織では、ハードウェアサポート対象外の旧システム上でも、Windows ベースのアプリケーションを展開することができます。
- ユーザは、現在使用している既存のオペレーティングシステムおよびアプリケーションを使い続けることができます。
- 組織では、Windows ベースのアプリケーションを、さまざまなデスクトップ環境に LAN や WAN を通じて配信することができます。
- システム管理者は、ネットワーク上のすべてのデスクトップコンピュータにアプリケーションを個別にインストールする必要がなく、アプリケーションをサーバーマシンにインストールおよびアップデートするだけです。
- 低速のネットワーク接続でも、ネットワーク接続されたアプリケーションを効率的に実行できます。

システム必要条件

ターミナルサービスに必要なハードウェアは、同時接続するクライアント数とクライアントの使用条件によって異なります。詳細は、www.microsoft.com/japan を参照してください。

このバージョンでは、次のクライアントが FileMaker によってサポートされています。他のクライアントについては FileMaker Pro によって現在サポートされていません。

6 ターミナルサービスでの FileMaker Pro の実行

- Windows: Internet Explorer バージョン 8 で動作する Terminal Services Client (リモートデスクトップ接続) バージョン 6.1.7600 (Windows 7)、Internet Explorer バージョン 7.0.5730.11 で動作するバージョン 6.0.6001 (Windows XP) またはバージョン 6.0.6000 (Windows Vista)
- Mac OS: Remote Desktop Connection Client for Mac 2.0

ターミナルサービスでは、ユーザ間で実行可能なリソースを共有します。そのため、同じアプリケーションを実行する追加ユーザのメモリの必要条件は、最初のユーザがアプリケーションをロードするときの必要条件よりも少なくなります。

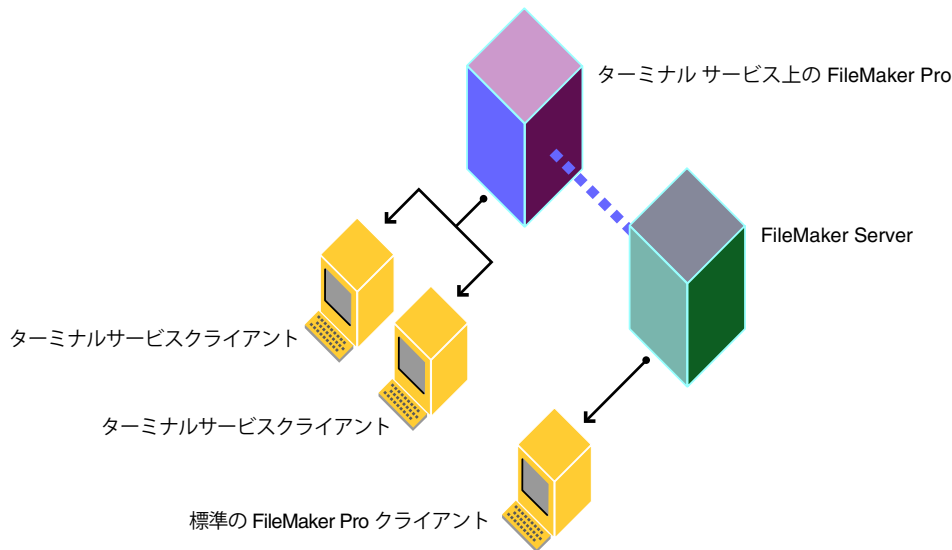
ターミナルサービスクライアントソフトウェア (リモート デスクトップ 接続) のインストール

ターミナルサービスを使用する必要があるすべてのコンピュータに、ターミナルサービスクライアントソフトウェア (リモートデスクトップ接続) をインストールします。

- Windows Server 2003 または 2008、Windows XP、Windows Vista、Windows 7: リモートデスクトップ接続ソフトウェアがデフォルトでインストールされています。また、リモートデスクトップ Web 接続も使用できます。
- Mac OS: Remote Desktop Connection ソフトウェアをダウンロードする必要があります。 www.microsoft.com/japan/mac を参照してください。

第 2 章

ターミナル サービスを利用した FileMaker Pro の使用



ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro のインストール

メモ インストールには、FileMaker Pro ソフトウェアと、ボリュームライセンスアグリーメント (VLA) またはサイトライセンスアグリーメント (SLA) のライセンスが必要です。シングルライセンスされた FileMaker Pro のソフトウェアコピーはサポートされていません。テストならびに動作確認は、FileMaker Pro および ターミナルサービスを使用して FileMaker, Inc. によって行われています。

ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro のインストール (Windows Server 2003)

1. ターミナルサービスが Windows Server 2003 SP2 コンピュータにすでにインストールされ、正しく設定されていることを確認し、管理者としてログオンしていることを確認します。
2. 次の操作を行います。
 - ソフトウェアを電子的にダウンロードしている場合は、ダウンロードファイルをダブルクリックしてファイルを解凍します。
 - FileMaker Pro ボリュームライセンス、またはサイトライセンス DVD をお持ちの場合は DVD ドライブに挿入します。
3. [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

メモ FileMaker Pro ボリュームライセンス、またはサイトライセンス DVD の [Setup] アイコンには直接アクセスしません。
4. [プログラムの追加] をクリックします。
5. [CD または フロッピー] をクリックし、[次へ] をクリックします。

ソフトウェアをオンラインで購入した場合は Setup.exe を参照します。

8 ターミナルサービスでの FileMaker Pro の実行

6. セットアップ言語を選択して、[OK] をクリックします。

FileMaker Pro 用の InstallShield ウィザードが表示されます。

7. ソフトウェアライセンスの画面が表示されたら、ソフトウェアライセンスを読みます。[ライセンスの条項に同意します] をクリックしてソフトウェアライセンスに同意します。

8. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールの詳細については、FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced の『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。

9. [プログラムの追加と削除] がインストールを終了したら、[完了] をクリックします。

ターミナルサービスサーバーへの FileMaker Pro のインストール (Windows Server 2008)

1. ターミナルサービスが Windows Server 2008 SP2 コンピュータにすでにインストールされ、正しく設定されていることを確認し、管理者としてログオンしていることを確認します。

2. 次の操作を行います。

- ソフトウェアを電子的にダウンロードしている場合は、ダウンロードファイルをダブルクリックしてファイルを解凍します。
- FileMaker Pro ボリュームライセンス、またはサイトライセンス DVD をお持ちの場合は DVD ドライブに挿入します。

3. [コントロールパネル] の [ターミナルサーバーへのアプリケーションのインストール] をダブルクリックします。ソフトウェアをオンラインで購入した場合は Setup.exe を参照します。

4. [次へ] をクリックしてインストールプログラムを選択します。

5. [次へ] をクリックしてインストールを開始します。

6. セットアップ言語を選択して、[OK] をクリックします。

FileMaker Pro 用の InstallShield ウィザードが表示されます。

7. ソフトウェアライセンスの画面が表示されたら、ソフトウェアライセンスを読みます。[ライセンスの条項に同意します] をクリックしてソフトウェアライセンスに同意します。

8. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールの詳細については、FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced の『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。

9. インストールが終了したら、[完了] をクリックします。

使用に関する注意事項

- メモリを必要とする FileMaker Pro ソリューションを使用する場合、または FileMaker Pro 以外にも複数のアプリケーションを使用する場合は、クライアントごとにより多くの RAM が必要です。
- Intel Core 2 Duo や Intel Pentium Dual Core などの、高速な Pentium プロセッサを使用します。

FileMaker では、ターミナルサービスクライアントで実行する FileMaker Pro ソリューションの使用および開発をサポートしています。ターミナルサービスクライアントを FileMaker Pro ソリューションの開発環境として使用する場合は、開発に関するいくつかの面で期待通りに機能しないこともあります。テクニカルサポートについては、www.filemaker.co.jp/support を参照してください。

FileMaker Pro ファイルを使用するための環境

非共有ファイル

ターミナルサービスクライアントは、ネットワークで共有されていない FileMaker Pro ファイルにアクセスできます。非共有の FileMaker Pro ファイルのように、ターミナルサービスクライアントで、非共有ファイルを開発および使用することができます。共有ファイルおよびピアトゥピア環境（FileMaker Pro ネットワーク共有）でのデータベースの共有は、ターミナルサービスクライアントではサポートされません。

メモ 特定ファイルの共有を解除するには、[ファイル]メニューの[共有設定]サブメニューから [FileMaker ネットワーク ...] を選択します。続いて、ファイルを選択して、[ユーザなし]を選択します。

FileMaker Server への接続

FileMaker Server または FileMaker Server Advanced を使用してターミナルサービスサーバーでファイルを共有できます。FileMaker Pro を配置したターミナルサービスサーバーは、FileMaker Server にアクセスしてローカルの FileMaker Pro クライアントと同様に、ターミナルサービスクライアントでも FileMaker Server でホストされている FileMaker Pro ファイルを共有できるようにします。ターミナルサービスサーバーで実行している FileMaker Pro をユーザが開くと、標準のネットワーク環境で FileMaker Server へアクセスするのと同様の方法で、FileMaker Server によってホストされている FileMaker Pro ファイルへアクセスすることができます。詳細については、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第5章「クライアントとしての共有ファイルの開き方」を参照してください。

メモ FileMaker Server は、ターミナルサービスと同じコンピュータにインストールしないでください。FileMaker, Inc. では、ターミナルサービスが稼動する同じマシン上での FileMaker Server の実行はサポートしていません。

FileMaker Pro の機能と制限事項

次の FileMaker Pro の機能は、ターミナルサービスクライアントでサポートされません。

- FileMaker Pro ネットワーク共有
- インスタント Web 公開
- ODBC/JDBC 共有
- 他社のプラグイン。プラグインの開発者は開発したプラグインがターミナルサービス上で動作可能かどうかを確認する必要があります。

TechInfo データベースの記事

ターミナルサービスでの FileMaker Pro の実行に関する記事については、TechInfo データベースを参照してください。TechInfo データベースには、www.filemaker.co.jp/support からアクセスすることができます。

付録 A

ライセンスの必要条件

FileMaker ライセンス条件

Windows Server 2003 ターミナルサービスを利用して FileMaker Pro を使用するには、ボリュームライセンスアグリーメント（VLA）またはサイトライセンスアグリーメント（SLA）が必要です。FileMaker Pro 通常製品は、ターミナルサービスと共に使用することはできません。

ボリュームライセンスアグリーメント（VLA）

VLA は、10 ライセンス以上の導入ニーズに柔軟に対応する、一括購入用ボリューム割引プログラムです。VLA では、ご購入いただいたソフトウェアのライセンス数だけソフトウェアを使用することができます。

VLA の詳細については、www.filemaker.co.jp/license を参照してください。

サイトライセンスアグリーメント（SLA）

FileMaker SLA では、組織の従業員数またはコンピュータの保有台数が 50 以上の場合、対象製品を任意の組み合わせで、組織内のあらゆる場所にインストールできます。

ライセンスの詳細については、www.filemaker.co.jp/license を参照してください。

Windows Server 2003 または 2008、およびターミナルサービスライセンスの必要条件

Windows Server 2003 または 2008、およびターミナルサービスライセンスの必要条件の詳細については、www.microsoft.com/japan を参照してください。

12 ターミナルサービスでの FileMaker Pro の実行